

お知らせ

平成24年9月19日

<同時資料提供先>

倉吉記者クラブ

米子市政記者クラブ

国道9号橋梁の損傷状況を現地で確認します ～琴浦町内の「月の輪橋(つきのわばし)」現地確認実施～

国土交通省倉吉河川国道事務所管内では、損傷の著しい橋梁について、損傷状況を現地で確認し、その対応方針について今後検討します。

道路建設後から相当年数が経過し、老朽化が進んでいる橋梁もある中、既存の橋梁の寿命を延ばし、より長持ちさせるために著しい損傷の早期発見・早期補修の予防保全対策を行うことが重要になっています。

このようなことから、橋梁の合同現地確認を行うと共に、橋梁の現状と対策の必要性等を広くご理解していただくために報道機関の方に、現地確認実施の公開をお知らせします。

【実施内容】

- 実施日時：平成24年9月21日（金）9：40～10：15
※雨天中止（小雨決行）
- 集合場所：当日9：35迄に現地集合（月の輪橋付近PA（別紙））
※詳細な現地点検時間等は担当まで問い合わせください。
- 実施概要：損傷状況の目視点検、損傷要因と概略判定、今後の対応方針等について、参加者で合同確認を実施する
（詳細は別紙のとおり）
- 実施場所：鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕地内
月の輪橋（国道9号）
- 参加者：約15名
中国地方整備局道路部、中国技術事務所、倉吉河川国道事務所、琴浦町、診断・点検業者

問い合わせ先

【倉吉河川国道事務所】

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL 0858-26-6221（代表）

（技）副所長 神宮 祥司（内線205）

（担当） 道路管理課長 松元 洋之（内線431）

月の輪橋の現地合同確認の実施概要

1. 主旨

橋梁の多くは高度成長期（1955～1973）に建設され、今後橋梁の老朽化が一斉に進むことから、多額の修繕・架替え等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。

こうしたことから、厳しい財政状況の下で安全安心を確保するため、既存の橋梁の寿命を延ばし、より長持ちさせるために著しい損傷の早期発見・早期補修の予防保全対策を行うことが重要になっています。

倉吉河川国道事務所では、平成24年9月1日現在、橋長2m以上の橋梁の232橋を管理しており、232橋（内19橋点検中）の橋梁点検を完了しています。

この点検・診断済みの橋梁 232橋のうち、26橋（約11%）が速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判断され、早期発見・早期補修の予防保全対策を計画的に取り組んでいるところです。

今回、損傷の著しい橋梁について、合同で現地確認を行うと共に、橋梁の現状と対策の必要性等を、広くご理解していただくことも重要であることから、報道機関の方に現地確認を実施することをお知らせするものです。

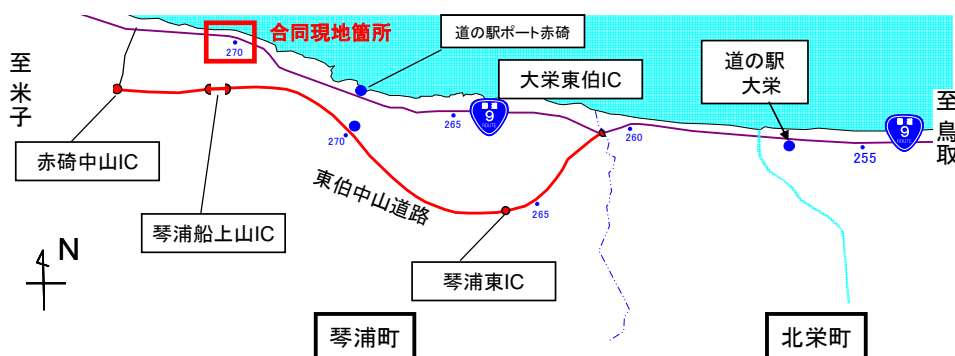
2. 実施日時：平成24年9月21日（金）9：40～10：15

3. 実施場所：鳥取県琴浦町大字赤碕地先
月の輪橋（国道9号）

※1 当日 9：35迄に 現地集合（月の輪橋付近PA（下図））

※2 点検箇所は、河川内のため長靴等装備をお願いします。

■位置図



■拡大図（合同点検箇所）



4. 合同点検確認者

合計 15名

中国地方整備局	道路部	道路構造保全官	1名
中国技術事務所		技術情報管理官	1名
倉吉河川国道事務所		道路管理課長外	6名
琴浦町			4名
診断業務	海洋架橋・橋梁調査会		1名
点検業務	中電技術コンサルタント		2名

5. 実施内容

橋梁全体の目視、損傷状況等の確認、橋梁点検調書との整合、損傷状況の目視確認、診断業者の所見（追加調査の必要性、損傷要因と概略判定）、今後の対応方針等について、参加者で意見交換、確認を実施する。

その外の橋梁7橋について実施する（確認内容は橋梁毎に異なる）

6. 現地確認橋梁の概要（今回対象橋梁）

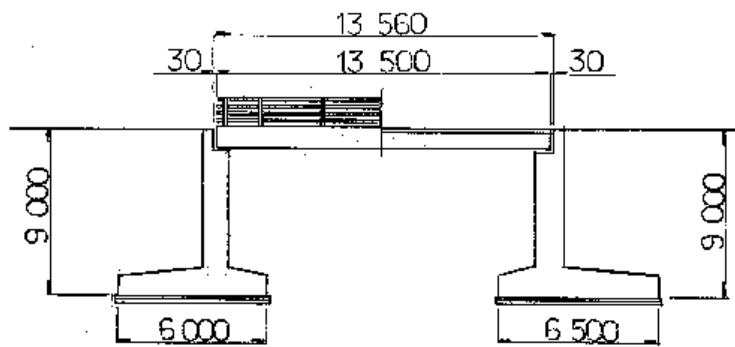
橋名：月の輪橋（つきのわ）

場所：国道9号 270k402付近

架設年次：1963年（S38年）

橋梁点検判定区分【前回H19】：B判定（主な損傷：老朽化による豎壁のひび割れ、伸縮装置の腐食・漏水）

【橋梁一般図】



【全景】



【損傷状況】

（橋台豎壁）

